

## じゃがいものおうち通信 NO. 38

～ 障害者と共に歩む仲間達～



NPO法人じゃがいものおうち 〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間136-6

Tel. Fax 0997-47-3588 E-mail npo-jaga@po.minc.ne.jp

発行責任者 松田 正



## 気分を新たに

いつもながら忙しいじゃがいものおうちの春、じゃがいも掘りにウコン掘り、今年はおまけに3回ものタンカンジュースづくり、忙しさの仕上げに産業祭！皆さんほんとお疲れ様でした。お陰様でじゃがいもの出荷も終わり、ウコンもその後作業所的に作業をして、すでに300kgほどスライス～乾燥が出来ました。まだスライスや植え付けの作業が続きますが天気とにらめっこして若松さんや信裕くんを手伝ってもらって作業所的にやろうと思っています。

人の移動の季節も終わりましたが、今期は「じゃがいものおうち」にとっても別れを経験することになりました。会の発足当初からの仲間で理事でもあった日高広啓さんが奥様の初美さんの転勤のため吉田町に、また教育現場に福祉の新しい風を送って下さった若松京子さんは横浜にそれぞれ転居されました。今後のご活躍をお祈りすると共に再び帰ってきて下さることを期待します。

そしてもう一つ悲しい報告があります。その昔、山尾三省さんなどがリヤカーで引き売りをされていたナモ商会から発展したJAC(株)(じゃがいもの出荷先)が破産したとの通知が来ました。約10万円の債権があります。「じゃがいものおうち」の看板でもあり、皆さんの努力と汗の結晶が報われない結果になりそうで申し訳なく思っています。

気分一新して5月23日、NPO法人「じゃがいものおうち」の総会をします。

皆さん、予定をあけておいてください！お楽しみ会も合わせてやる予定ですので乞う、ご期待！！です。

&lt; 松田 &gt;

## 活動報告

## ウコン採りに参加して (2月15日 於:尾之間)

「ボランティアつわのは」

「じゃがいものおうち」の活動を知りましたのは3年前でした。

私共は「ふくし」のボランティアを主として活動していましたが、常々何かお手伝いすることがあればと思ってましたので、ウコン採りのお手伝いに喜んで参加しました。宮之浦以東15～16名で掘り起こしてあるウコンを大小に分ける一部の仕事でした。私共「毛むしり」まで予想して、鋏・包丁まで準備してきましたのに初年度は午前中で終了しました。今年は14名で参加。ふだん御勤めの、慣れない方も、久し振りにおしゃべりしながらも、休む間もなく手を動かしていました。私共のグループは4人でいい所を見せようと皆、必死でした。おひるにはおいしい豚汁に舌つつみをうちながら



野外で戴く汁物は、特別にお美味しいとおかわりもしました。午後4時には完了しないまま心を残しつつ、でも充実した満足感に加え、心良い疲れも感じつつ帰路に着きました。

毎年思う事ですが、皆様小さい御子様から御家族総出で、それなりに御手伝いしていらしゃる御姿、「土に親しみ」自然の中で島の人達よりも、屋久島らしい生き方に私共感じ入っています。(若い人達の土ばなれを憂う一人として)。「じゃがいものおうち」通信を拝読させて戴いて、「ももこ」映画上映を始め、タンカンジュース作り、産業祭に出店等、目的に向かって着々と実行していらっしゃる団結の強さ、計画性、実行力、頭の下がる思いです。敬服の一言に尽きます。益々の御活躍を。

さてこの機会に「ボランティアつわのは」を紹介します。平成2年に発足。会員48名(男子2名)。月1回は集う事にしています。4月18日は各集落の港の清掃(ゴミ拾い)でした。声かけ運動をしながら、無理しない程度に楽しみながら活動しています。(寺田和子)

## タンカンジュースつくり (2月22、23、24日、3月15、4月11日)

屋久島での初体験

於：ポンタンカン

昨年の7月末に東京から屋久島に家族三人で移住してきましたが、早いもので9ヶ月が過ぎようとしています。この間、引越荷物の片づけを終え、魚釣りや畑づくりなどささやかですが自然と親しむことが出来ました。大地からは自然の恵みである野菜など各作物の収穫も出来、食卓でおいしく戴くことが出来ました。

なお、こちらへ来た本来の目的である信裕くんの自立に向けての体制づくりとして、自宅で出来ることについては、現在準備中ですが、今後もよりベターなものがあれば本人と相談しながら検討していきたいと思っております。

また、福祉ボランティアについても飽き易い性格などを考慮し、徐々に「じゃがいものうち」のお手伝いが出来ればと考えていましたが、餅つき大会などで楽しく交流出来たことから信裕くんの気持ちがより前向きになったようです。

最近では、じゃがいも掘りやタンカンジュースづくりなどに参加して、多くの人達と触れ合えることを喜んでいました。

特に、ポンタン館におけるタンカンジュースづくりでは、各作業毎に少しずつお手伝いしたことで、いろいろな作業工程を経てジュースが出来ていく様子が解ったので、これまで学校で習った料理づくりや作業所での共同作業などしか経験のない信裕くんにとっては、新鮮な体験となったようです。

作業中は、疲れた！疲れたよ！と口癖のように言っていましたので、男だ頑張れ！と励ましたのですが、実は、私の腰の方も悲鳴を上げていました。家に帰ってからは疲れたのを忘れ、祖父におみやげのジュースを見せながらつくり方を自慢気に話していました。ちなみに、瓶にキャップする作業が楽しかったようです。

これからも、信裕くんなりに自宅での作業はもとより、「じゃがいものうち」との関わりを大切に、屋久島の大自然の中で沢山の仲間と触れ合いながら、のびのびと楽しく生活していくことが出来ればと思っておりますので、会員の皆さん宜しくお願いします。

信裕くんから一言：“楽しくやりましょう”

(高見沢 義男、信裕)



## タンカンジュース作りが教えてくれた事

3回の作業となったジュース作り、始めに作業に携わって頂いたボランティアの方々、交代で昼食をとるほど忙しい作業を喜んでして頂いた事、たくさんのタンカンを提供してくださいました皆様、おかげで目標以上の本数が出来ました。本当にありがとうございました。それからジュース作りに携わった障害を持たれた方達、全体の中では小人数だったかもしれませんが、彼等の嬉々として働く表情が私達に更に新たなる勇気を与えてくれました。たくさんの方々の気持ちに支えられたジュース作りでした。

この度のジュース作りの目的は、ヘルパ派遣事業の自己資金の調達、障害者の働く場作りの作業の開拓、安心して暮らせる地域作りに向けての意欲作りです。一回目はボランティアでしましたが二回目、三回目は、作業の量からしてボランティアの域を越えているので、また将来作業所的な形を考えて有償ボランティアとして試みて見ました。このような作業が年間を通じて途切れなければ、皆が共に働ける作業所が出来ます。この度のタンカンジュース作りは、なんとなくそれが出来そうな気になりました。

「一人は万人の為に、万人は一人の為に」・・・いい言葉だ。

(楯)



## じゃがいも堀り

(3月7日 於：高平)

民生委員協議会の組織の中に児童、障害児(者)部会があり、年間活動計画の中で「じゃがいものうち」の活動に参加、交流を計画し、3月7日に実施させて頂きました。団体や個人の現状把握や課題について、部会員がボランティア活動を一緒にさせて頂く中で、問題を共有するという目的で参加させて頂きました。都合がつかず四人しか参加出来ませんでしたが、大変意義ある活動となりましたわずかな時間でしたが「じゃがいもほり」の活動を会員の方やボランティアの方をはじめ、いろいろな立場の方々とまさに老若男女が一つの目的のために楽しそうに生き活きと汗を流す活動に参加出来た、いろいろ

な方がいろいろな立場で「じゃがいものおうち」を支えて下さっている姿に感動を覚えました。予定していた計画では、昼食時や活動後に懇談の時間を取って、一人でも多くの方々の御苦労やお話を聞かせて頂き、その声を行政や関係機関につなげ、反映させていくという目的や願いをもって臨みましたが残念ながら時間がとることが出来ませんでした。

今後の反省として、活動に継続的に関わらせて頂き、団体の長期的展望やニーズ、個々人の要望や願い、ご意見やお話を聞かせて頂きたいと思えます。

< 児童・障害児(者)部会部長 岩川 信雄 >



### スプリングキッズ (3月28日於：じゃがいものおうち)

スプリングキッズでのお楽しみ会で、「りえのノリノリの演奏」を聞いた。イキイキと楽しそうにやっている。そんな姉(りえ)を見ると、つい涙が出てしまった。これで、2度目の姉の晴れ舞台です。自分勝手に弾いているが、なんとなく音楽になっている。いつも聞きなれている私でも自然に聞こえてくる。

私 : りえ、たのしかった?

りえ : たのしかった!

私 : 何がたのしかった?

りえ : たのしかった!

二人の会話である。何を聞いても(たのしかった)。それほど楽しかったのだらうと、私はうけとった。だんだん成長して行く姉がうれしく思えた。

そんな機会を作ってくれる「じゃがいものおうち」に感謝。ありがとう。

< まみ >



### 屋久町産業祭出店! 人の輪! 人の和!

(4月29日 於：尾之間)

去る4月29日、今年も恒例の「じゃがころ」を始め、「わたあめ」、「喫茶」などで出店しました。例年より来場者が少なかった(らしい)ことや出店場所も隅であったにもかかわらず、売り上げは20万円を超えることが出来ました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。

最近、いろいろな組織をみても、最初は一つの目的をもって集まっていた方々が、時間や事業の流れの中で意見の食い違い等で分かれていく例は数多くあるようですが、これだけの仕事をしながら、みんなが輪になって一つのことをやり遂げているのはすばらしいことです。そしてその輪が人の和を生み、少しずつでも社会を変えていっている。いつまでもこのような仕事が出来たらいいなと思っています。

また、来店者の反応を見ても、「じゃがいものおうち」の名をほとんどの方々が知ってらっしゃる事には驚きました。私たちの輪と和をもっともって世の中に広げていきたいものですね。感謝。

< 藤山倉作 >



### お知らせ

「じゃがいものおうち」の電話が5月10日からISDNになりました。電話とインターネットが同時に使えるようになりましたので、インターネットを体験したい方は実費で使えるようにしたいと思います。利用料金は半時間あたり100円です。習いたい方は、前もって連絡ください。

## 新 会 員 紹 介



古屋浩三さん・古屋芳子さん・峰平耕典さんが新しく入会されました。  
皆さんよろしく申し上げます。

古屋浩三さんは以前は囲碁と尺八の先生でした。高齢になり今はもっぱらテレビ観戦とのことです。芳子さんは現在茶道の先生として活躍していらっしゃいます。よろしく申し上げます。

### 人生いろいろ

平成16年4月15日で満70才になりました峰平耕典です。

どうぞよろしくお願い致します。

人生、人との出会いで変わると言われています。私も、その例にもれず、小瀬田に住む、野村一雄と言う友人との出会いで、屋久島の山々の自然に魅せられ、思いもよらぬ屋久島に来てしまいました。

私の定年後の夢は、嫁さんの里である兵庫県の北、但馬の妙見山の中腹で、山小屋を建て、山スキーをするのが楽しみだったのです。

屋久島は遊びに来るには、よい所であっても現実に生活するとなると大変です。アルバイトでもして働けば何とかかなと思ったのが甘い考え。働く所もなく、2年間農家の手伝いで、米作りからタンカン、からいも作りと自分でも感心する位よく働きました。そのお陰で平内で多くの人々と親しくなり、何の心配もなく、生活することができました。その後、尾之間に岩崎ホテルができ、70才まで働くつもりでしたが、今年の6月で退職しました。

さて「じゃがいものおうち」との出会いですが、松田さんとは野菜の苗を毎年売りに来られ、時々買っていましたので知っておりました。「じゃがいものおうち」に花の苗を持って行くようになった切っ掛けは、良く覚えていませんが、松本さんにいろいろと親切にして戴き、今日まで続いています。

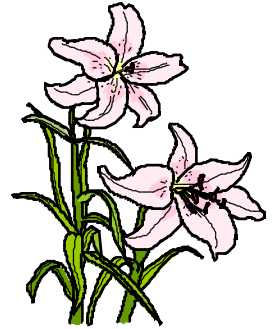
ホテルを辞めてからは特にする事もなく、花を作るのが唯一の楽しみで、少しずつ増やした花も100種を超えました。家（明石）に帰った時は、花の苗を買ってくるのですが、屋久島の気候に合わない花は枯れてしまいますが、ついた花は生長が早く株分けや差木で殖やせるので助かります。

「人生いろいろ」私はこの言葉が好きです。一つの喜びも10人に分ければ 喜びも10倍になる。

日高御夫妻の生き方には感動しました。

先のことはわかりませんが、屋久島が人生の終着駅と考えておまして、これからも増々花作りに精を出して行きたいと思っています。

< 峰平耕典 >



## 2004年度 総会案内

日時 5月23日(日曜)

AM10:00 ~ PM15:00 予定

場所 尾之間管理センター 二階広間

昼食を出します(盛、おにぎり)

昼食を食べながら、皆様の活動を労い、お楽しみ会を開催します。(カラオケ他)

## 感 謝 録

<平成16年3月~5月15日>

(五十音順、敬称略)

稲場輝夫	岩川絹子	岩川滝夫	岩川チヨ	岩川美意子	上山利光	大久保芙美子
小笠原勝弘	加藤 章	鎌田智秀	川崎君子	後藤田百合美	笹川広樹	高田和子
戸床 頭	中井信司	仲智恵美	日高一昌	日高 滋	福島 晃	藤山順子
フレンド	水野広章	峰平耕典				

## 編 集 後 記

今日(11日)、拠点に若い女の人が「車いすでも利用できる宿泊施設はありませんか?」と訪ねて来ました。鈴木さんがちょうど来ましたので、調べてもらいましたが、[福祉マップ]の必要性を感じた日でした。ヒロくん(日高広啓)が、鹿児島へ行ってしまったので「通信」作りが大変でした。1日発行の予定が半月も遅れて申し訳ありません。また、急いで原稿を書いて下さった方々、ありがとうございました。 <まる>